

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	こどもと造形表現Ⅱ	
科目基礎情報							
開設学科	こども学科		コース名	幼稚園教諭・保育士コース		開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	15時間
単位数	1単位		授業形態	演習			
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	井上 厚			実務経験の有無・職種	無		
学習目的							
乳幼児期は、人格の基礎が形成される時期である。この時期の教育において育みたい資質・能力を幼児の生活する姿から捉えたものの内容として五領域「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」が挙げられる。この科目は5領域の中から「表現」に関わる科目である。自身が保育者となった時に、個々のこども達が、自分なりの自由な表現が出来る指導援助が出来ることを目的とする。							
到達目標							
実習指導案を考える際に役立つ知識を身につけることができる。環境構成や用具、素材、準備するものなど授業で学んだことを活かして、各年齢の発達に見合った複数のカリキュラムを選択出来る。工作に於ける様々な素材の基礎的な加工法や接着法を身に付ける。保育の現場で乳幼児に指導出来るようになる。							
教育方法等							
授業概要	工作を中心とした造形の演習を実技を通して学ぶ。実際に手を動かして制作するだけでなく、指導案の作成に役立つように、環境構成や用具、素材、準備するものなどを記録する。保育の現場で実際によく使われる素材である、牛乳パックや、紙皿、紙コップ、お菓子の紙箱や段ボールなどの廃材を用いて、加工方法や接着について学ぶ。						
注意点	授業時数の4分の3以上出席しないものは作品及びレポートを提出することが出来ない。 完成していない作品は提出することが出来ない。 こども達の安全、安心を確保できるように注意しながら実施していく。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	提出作品	60%	提出された作品の制作技術、完成度、アイディアなど総合的に評価する				
	レポート	30%	環境構成、制作方法、素材、用具などを記録したレポートを評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～8回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	大きな魚の制作			大きな魚の制作をする過程で、フィンガーペインティングの技法を理解し、習得する。			
2回	お面の制作			動物のお面を制作する過程で、フロッタージュ技法を理解し、習得する。			
3回	貼り絵の制作			色画用紙を使って動物の貼り絵をする。特に環境構成をよく理解する。			
4回	びっくり箱の制作			牛乳パックを使ったびっくり箱をつくる。手順をよく覚える。			
5回	粘土で動物の制作			粘土で動物をつくる。素材に慣れ、道具の使い方も習得する。			
6回	紙皿で顔の制作			紙皿で顔をつくる。これまでに覚えた様々な技法も利用する。			
7回	紙コップでロケットの制作			紙コップと輪ゴム、フェルトを使ったロケットをつくる。手順をよく覚える。			
8回	箱を使った車の制作			箱に車輪を付けて車をつくる。制作手順をよく覚える。			
9回							
10回							
11回							
12回							
13回							
14回							
15回							

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	こどもと造形表現Ⅱ	
科目基礎情報							
開設学科	こども学科		コース名	保育士コース		開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	15時間
単位数	1単位		授業形態	演習			
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	井上 厚			実務経験の有無・職種	無		
学習目的							
乳幼児期は、人格の基礎が形成される時期である。この時期の教育において育みたい資質・能力を幼児の生活する姿から捉えたものの内容として五領域「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」が挙げられる。この科目は5領域の中から「表現」に関わる科目である。自身が保育者となった時に、個々のこども達が、自分なりの自由な表現が出来る指導援助が出来ることを目的とする。							
到達目標							
実習指導案を考える際に役立つ知識を身につけることができる。環境構成や用具、素材、準備するものなど授業で学んだことを活かして、各年齢の発達に見合った複数のカリキュラムを選択出来る。工作に於ける様々な素材の基礎的な加工法や接着法を身に付ける。保育の現場で乳幼児に指導出来るようになる。							
教育方法等							
授業概要	工作を中心とした造形の演習を実技を通して学ぶ。実際に手を動かして制作するだけでなく、指導案の作成に役立つように、環境構成や用具、素材、準備するものなどを記録する。保育の現場で実際によく使われる素材である、牛乳パックや、紙皿、紙コップ、お菓子の紙箱や段ボールなどの廃材を用いて、加工方法や接着について学ぶ。						
注意点	授業時数の4分の3以上出席しないものは作品及びレポートを提出することが出来ない。 完成していない作品は提出することが出来ない。 こども達の安全、安心を確保できるように注意しながら実施していく。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	提出作品	60%	提出された作品の制作技術、完成度、アイディアなど総合的に評価する				
	レポート	30%	環境構成、制作方法、素材、用具などを記録したレポートを評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～8回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	大きな魚の制作		大きな魚の制作をする過程で、フィンガーペインティングの技法を理解し、習得する。				
2回	お面の制作		動物のお面を制作する過程で、フロッタージュ技法を理解し、習得する。				
3回	貼り絵の制作		色画用紙を使って動物の貼り絵をする。特に環境構成をよく理解する。				
4回	びっくり箱の制作		牛乳パックを使ったびっくり箱をつくる。手順をよく覚える。				
5回	粘土で動物の制作		粘土で動物をつくる。素材に慣れ、道具の使い方も習得する。				
6回	紙皿で顔の制作		紙皿で顔をつくる。これまでに覚えた様々な技法も利用する。				
7回	紙コップでロケットの制作		紙コップと輪ゴム、フェルトを使ったロケットをつくる。手順をよく覚える。				
8回	箱を使った車の制作		箱に車輪を付けて車をつくる。制作手順をよく覚える。				
9回							
10回							
11回							
12回							
13回							
14回							
15回							